

心不全 ～脚のむくみ・息切れに要注意～

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



今回から心不全のお話をいたします。実は「心不全」は病名ではないということを御存知でしょうか？心臓は全身に血液を送り出すポンプの働きをしていますが、心不全とは心臓のポンプ機能が低下した状態を意味します。すなわち心不全になるには心臓の働きを低下させる何らかの原因（病気）が別に存在することになり、代表的なものとして心筋梗塞、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、高血圧、糖尿病などが挙げられます。

心臓の働きの低下は自分ではなかなか自覚できません。特に徐々に進行する慢性心不全では、症状に気が付きにくいこともあり、見過ごされがちです。心不全の代表的な症状としては両足の「むくみ」があり、すねの部分指で押さえると跡が残るようになります。また肺のうっ血が起こってくると、体を動かしたりした時に「息切れ」を生じるようになります。さらに体を横にして休んでいると息苦しくなり、体を起こすと楽になる「起座呼吸」も心不全の代表的な症状です。その他にも倦怠感、夜間多尿、手足の冷えといった症状が起こりえます。ただこういった症状が一つでもあれば必ず心不全だというわけではなく、腎臓や肺の働きが悪い場合にも同様の症状が起こることがあります。

心不全の検査としては全身の診察、心電図、胸部レントゲン、採血検査、心エコー等があります。採血項目として近年BNPもしくはNT pro BNPという心臓が弱った時に増加するホルモンが注目されており、心不全の重症度の指標の一つとして活用されています。また心エコーは心臓の動きや血液の流れを直接見ることでできる検査で、心臓の働きを調べるために有用な検査です。気になる症状があればかかりつけ医に相談して原因を調べてもらうことが大事です。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000